

土浦市歴史的風致形成建造物 指定台帳

指定番号	第5号	名称	一色家住宅主屋
指定年月日	令和6年12月25日	所在地	土浦市西真鍋町10-4
所有者氏名	土浦市長	所有者住所	土浦市大和町9-1
建築年代	江戸時代 (文久3年(1863))	規模・構造	木造 平屋建 寄棟 茅葺
特徴等	<p>本住宅は、文久3年(1863)に江戸詰め藩士達が引き上げる事になり、土浦城の北方に郭を造成し、その新郭に建てられた武家住宅である。江戸より移築されたともいわれる。明治時代になり、土浦藩家老であった一色範疇の居宅として、現在地に移築された。</p> <p>木造平屋建、寄棟、茅葺。一色家住宅主屋は土浦藩士の武家住宅として、その名残を唯一留めているといわれるもので、平成13年(2001)に国の登録有形文化財に登録された。</p> <p>令和3年(2021)には、建物及び敷地が市へ寄贈された。</p>		
指定理由	<p>土浦市歴史的風致維持向上計画で「【真鍋響動】鹿島神社祭礼にみる歴史的風致」に位置づけられており、真鍋のまつりの山車・獅子屋台の巡行ルート上に位置することなどから、歴史的風致の維持及び向上を図るために重要な建造物となっているため。</p>		
備考	国登録有形文化財		

■写真



■ 位置図

